

平成22年度 社団法人 大阪府臨床検査技師会 第2回定期総会（平成23年度予算総会）

次 第

- 日 時 平成 23 年 3 月 24 日 (土) 午後 7 時 00 分～同 8 時 00 分
場 所 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
- 次 第
1. 開会の辞
 2. 表彰
 - 1) 永年会員表彰
 3. 議長選出
 4. 議長挨拶
 5. 総会役員選任
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 6. 会長挨拶
 7. 資格審査報告
 8. 議案審議
 - 1) 第1号議案 平成 23 年度各部事業計画に関する件
 - 2) 第2号議案 平成 23 年度予算案に関する件
 - 3) 第3号議案 公益社団法人移行に関する件
 - 4) 第4号議案 日本臨床衛生検査技師会総会代理人選出の件
 - 5) 第5号議案 その他
 9. 議事録署名人選任
 10. 総会役員解任
 11. 議長挨拶
 12. 閉会の辞

議事録 (概要)

1. 開会の辞
定刻どおり、司会の運天副会長より平成23年度予算総会開会の辞。
2. 表彰
 - 1) 永年会員表彰
永年会員表彰対象者61名を代表して大江泰浩氏（JR西日本健康増進センター）に、今井会長より永年会員表彰が授与された。
3. 議長選出
議長の選出については総会出席者の中から立候補がなかったため、執行部に一任され、司会の運天副会長より、山本裕之氏（大阪赤十字病院）、山内一浩氏（市立豊中病院）の2名の提案があり出席者の拍手多数をもって承認された。
4. 議長挨拶
山本議長より、議長就任の挨拶。
5. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
山本議長より、資格審査委員兼議事運営委員として、理事から清水理事、井戸田理事の2名と、出席者から岡本美由紀氏（新生病院）、三上英子氏（高津病院）、伊東千絵氏（小阪産病院）、の3名が選任され、両委員会の委員長に清水理事が選任された。
 - 2) 書記任命
山本議長より、社団法人大阪府臨床検査技師会事務所職員の岩崎和子氏、仲野けい子氏が任命された。
6. 会長挨拶
本日は、多数の方にお集まり頂きまして有難うございます。平成22年度第2回定期総会において平成23年度の事業計画案と収支予算計画案を報告いたしますので、どうかご審議の程よろしく願いたします。
7. 資格審査報告
清水資格審査委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数30名、委任状数2,062名、計2,092名で、平成23年3月24日現在の正会員数3,013名の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった。当報告を受け、山本議長より定款22条に基づき本総会の成立宣言がなされた。

ここで、議長を山内氏に交代した。
8. 議案審議
 - 1) 第1号議案 平成23年度各部事業計画案に関する件
1. 総括
昨年の平成22年度予算総会での約束した公益社団法人への移行について、諸般の事情で進展が遅れていることを詫び、役員一同総力をあけて取り組むことを伝えた。平成23年度は、公益社団法人化を睨んで、これまでの事業の見直しと再構築を行い、公益事業比率が50%以上の予算配分とした。

平成23年度新規事業としては、要望の多かった緊急検査部会を創設し、平成22年度に創設した内視鏡部会と共に他には類をみない先駆的事业として、大臨技が先導的役割を果たすことに期待している。日臨技は平成23年度中に一般社団法人に移行予定とされ、それに連動し、大臨技は昨春秋以降より新たな会員管理システムの構築と当会独自の賠償保険制度を立ち上げた。今後も日臨技の動向に伴い、会員の皆様に直接かかってくる問題が多々起こることと思うが、素早い情報の伝達と問題解決に努力する。

平成23年度事業計画案は、①地域医療推進と臨床検査の普及啓発に関する事業、②組織の強化拡大および会員権利の確立、③臨床検査技師、衛生検査技師の倫理の高揚および質の向上に関する事業、この三点を基本計画案として掲げる。そして、この基本計画案に沿って各種事業展開をする。平成23年度も各種事業を通じて大阪府民の健康増進と福祉に貢献したいと考えている。審議のほどよろしくお願い致します。

2. 事務局計画案について

平成23年度は事務局として公益社団法人認定に重点を置き、定款の改定に向けて必要書類を作成し、今年度中には申請手続を済ませ平成24年度は公益社団法人として出発することを目指す。

- 1) 公益社団法人移行認定に向けて総務部では、
 - ①ホームページ掲載内容を見直し大臨技の事業収支を分かりやすくする。
 - ②大臨技ニュース等の大臨技情報紙について、他職種の方にも役立つ情報を掲載するとともに配布を検討する。
 - ③現定款を公益社団法人用定款に改定する。
 - 2) 事務体制の確立と強化では、①大臨技会員管理システムの充実を図り日臨技の新体制に適應するとともに、日臨技や他の都道府県技師会との情報アクセスを視野に入れた会員管理システムの構築を目指す。
 - ②財務管理の充実を含め、近畿2府5県で重複している事業を共催できるよう整備する。
 - 3) 渉外部では、①大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府看護協会、大阪府放射線技師会等の関連団体と共同事業を進め連携して交流を強化する。
 - ②府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、マタニティカーニバル等の府民公開講座を推進する。
 - ③献血推進に関する協力、障害者への理解と協力等社会貢献活動を推進する。
 - 4) 新規に立ち上げた大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理。
 - 5) 日臨技関西支部および旧近畿臨床検査技師会との連携。
 - 6) 日臨技主催の予防事業の推進。
- 以上の事業を計画している。

以上、事務局事業計画案についてのご審議よろしくお願い致します。

3. 事業局計画案について

学術部は、平成23年度から5つの目標を立てて事業を進めたいと思う。

- 1) 部門別研修会・講演会の開催は例年学術部として100前後の事業を展開し、次年度も各部門世話人の積極的な活動により、例年通りそれ以上の事業を展開したいと考えている。とくに来年度は、他の医療職種と関係のある領域について、他医療職種公開講座として公益性をアピールしたいと思う。
- 2) 部門間交流事業の開催については、部門を超えた講師の交流等により、垣根がなくなっている臨床検査領域に対応していきたいと思う。
- 3) 他団体との学術交流活動への対応については、渉外部が主催する大臨技・大放技合同フォーラムや大阪府薬剤師会・栄養士会との合同開催である府

- 民健康フォーラムにも積極的に関わって行きたい。
- 4) 公益事業としての学術部講演会の開催については、9月と2月の2回計画している。臓器別疾病の基礎知識や臨床検査の関わり、医療職に必要な話題をテーマとして臨床検査技師だけでなく多くの医療関係者や市民の方が参加できる企画を考えている。
- 5) 教育機関研修セミナーの開催も来年度で第6回を迎え、学生の方に大臨技の紹介の場として定着しつつあり、毎年、各学校の教務の先生方のご尽力により多くの学生の参加がある。来年度も各校OBの体験談や教育講演や特別講演を織り交ぜ学生に対し将来の目標や進路に役立つ情報を発信し、技師会への入会をアピールしたいと考えている。

以上のように学術部は23年度も会員だけでなく他職種の方や一般市民・府民が興味を持って積極的に参加できるような事業展開をしていきたいと考えている。

情報組織部は、①6月に新入会員や未入会者を対象に技師会活動の理解を深めるための新入会員研修会を開催。②2月に検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携と組織の強化を目的に技師長会を行う。③検査技師および他の医療従事者を対象としたICT活動の横断的研修会を企画。研修会については、④チーム医療部門との連携により、検査技師のチーム医療への参画を支援する。チーム医療部門の研修会の計画については、糖尿病療養指導部会は、①糖尿病療養指導定例勉強会(4月・6月・10月・12月)②糖尿病療養指導士講演会(7月・2月)。ICT部会は、定期講習会(6月・12月)。NST部会は、講演会(5月・10月)。生殖医療技術部会は、生殖医療講演会(2月)を計画している。

地区事業部は、①マタニティカーニバル2011を、6月25日・26日に大阪南港ATCにて開催予定。②会員交流会を、9月に開催予定。③施設連絡者を2月に開催予定。④各支部(北・中央・南支部)は、1回の自由集会和1回の地域医療フォーラムの開催を予定。⑤健康展については、吹田市、豊中市、摂津市の健康展に参加予定。

以上、ご審議の程、宜しくお願いします。

山内議長より、会員の小林一久氏(桜橋渡辺病院)から書面による以下の要望および質問があることを伝えた。①大臨技会費の徴収を口座振込にできないか?②大臨技勉強会等の参加費が同額で無い場合があるが、なぜか?

これに対し、今井会長より、①大臨技会費の徴収については、同じ要望が多ければ検討していきたい。②大臨技勉強会等の参加費については、参加費ではなく資料費と理解して頂きたいと回答した。

以上の第1号議案「平成22年度各部事業計画案に関する件」について、総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成23年度予算案に関する件

「平成23年度予算案に関する件」については別紙「収支予算案」をもとに前年度比較増減を中心に説明があった。

収入の部では、会費収入について会費数の増加と入会金の単価が2,500円減額の分入会数の増加を見込んで、1,920万円を計上。事業収入と補助金収入について日臨技収入が見通すことが出来ないため、62万円減。その補てんとして各企業等から事業協賛及び資料広告等として雑収入の増収を見込んで203万円を計上。当期収入合計3,321万円、前期繰越収支差額700万円、収入合計4,210万円を計上した。

支出の部1では、人件費5万増、事務経費の通信費40万を減額し、今年度は新たな大臨技専用のシステム費用と会員証作成費用が発生するため、40万を計上で前年度と同額、支出の部1小計で1,545万円を計上した。

支出の部2では、学術研究費について、研究費が25万増、企画費は32万減、1,265万円を計上。広告費として、23年度は名簿の発行がないのと、会報印刷費を抑え95万減で325万円を計上。

情報組織費は多職種合同研修会が新たに公益事業を含み41万とし、30万増で150万円を計上。

渉外費は、日臨技の委託金が入金される予防啓発事業を60万とし、昨年の日臨技共催金28万減で154万円計上。

地区事業費は昨年と同額の123万円を計上。渉外部と地区事業部に関して日臨技共催金の入金が無い場合減額となる。

各種研修会費は、新たに緊急部門費40万を含め45万を計上。各種委員会費として、データ標準化が酵素2年分を含め76万とし134万円計上。諸経費について、280万円を計上。支出の部2小計で2,476万円を計上した。本年度は支出の部1,2を合計した当期支出は9万円減額の4,021万円を計上した。

質疑応答として、自宅会員の藤岡氏から大臨技会報・ニュース等を他職種の配布とされるにも関わらず広告費予算減少についての問いに荒木会計部長より以前から他職種には会報等の配布はされている。各部の事業費も節約をお願いし部会の予算と広告費も印刷会社の変更により費用が下がっているためと説明があった。

以上の第2号議案「平成23年度予算案に関する件」について、総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

3) 第3号議案 公益社団法人移行に関する件

公益社団法人移行に向けて、予定では平成22年度中に認定をと考えていたが、少々遅れ、次年度にずれ込むことになった。再度、公益社団法人移行に関する件として、本日ここに平成23年度事業として提案したい。今後の予定として、新定款案を出来るだけ早く完成させ、大臨技ホームページ上に公開する。平成23年度第1回定期総会（平成22年度決算総会）で新定款への変更の承認を得たいと考える。そして、平成23年10月までに、新定款およびその他申請に必要な資料を揃え公益社団法人の申請をし、2月又は3月迄には承認が得られるようにしたい。予定として、平成24年4月1日より公益社団法人としてのスタートが出来ると確信している。平成23年度の最重要事業として本議案を提案したい。ご審議よろしく申し上げます。

以上の第3号議案「公益社団法人移行に関する件」は、質問、意見なく総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

4) 第4号議案 日臨技総会代理人選出に関する件

今井会長より、日臨技総会代理人の選出について、当会から今井 宣子（大阪大学大学院）、暹天 政五郎（東住吉森本病院）、竹浦 久司（多根総合病院）、吉本 勝美（白鷺病院）の4名が提案された。

以上の第4号議案「日臨技総会代理人選出に関する件」は質問、意見なく総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

5) 第5号議案 その他

1. 会員の岡本秀雄氏（住友病院）から、血液部門はシニア・ジュニアコースと限定された勉強会に年間を通して1名の方がずっと続けることに関し

て、改革の検討をお願いしたいとのことに

高田学術部長から、講義に関してはそれぞれの意見とやり方がある。学術部に持ち帰り検討すると答えた。

2. 近畿臨床検査技師会協議会の設立と参画に関する件

近畿臨床検査技師会協議会設立と参画に関する件についての提案があり、現在、近畿臨床検査技師会という組織に、当会も参画して各種事業を行っている。近畿臨床検査技師会の廃止に伴い新たに近畿臨床検査技師会協議会を設立し、これまで近畿臨床検査技師会で実施してきた各種事業をこの新組織に移行し継続させたい旨を伝えた。近畿臨床検査技師会協議会では、まだ正式な名称は決まっていないが、会の目的や事業内容および会計等についてはほぼ決定済で基本的にはこれまでの近畿臨床検査技師会が実施してきた各種事業のうち近畿医学検査学会を除くほぼ全ての事業を継承し会の性格も現在の近畿臨床検査技師会とほとんど同じであると理解を願う。

現在、近畿二府五県技師会の間では、この協議会として新たな近畿臨床検査技師会組織を設立する方向でほぼ考えは一致し、当会もこの新たな組織すなわち近畿臨床検査技師会協議会の設立に賛同して参画し、共に活動していきたいと考えている。

承認していただけますようご審議よろしく申し上げます。

以上の議案「近畿臨床検査技師会協議会の設立と参画に関する件」は、質問、意見なく総正会員の3分の2の多数をもって承認された

9. 議事録署名人名選任

山内議長より、議事録署名人名として本日出席者の中から、上遠野明氏（南大阪病院）、岡部文雄氏（結核予防会大阪府支部相談診療所）の2名が選任された。

10. 総会役員解任

山内議長より、平成22年度第2回定期総会の議案審議の終了が宣言され、総会役員は解任された。

11. 閉会の辞

竹浦副会長より、平成22年度第2回定期総会閉会の辞。（午後8時00分閉会）

平成23年3月24日

議事録署名人 印

同 印